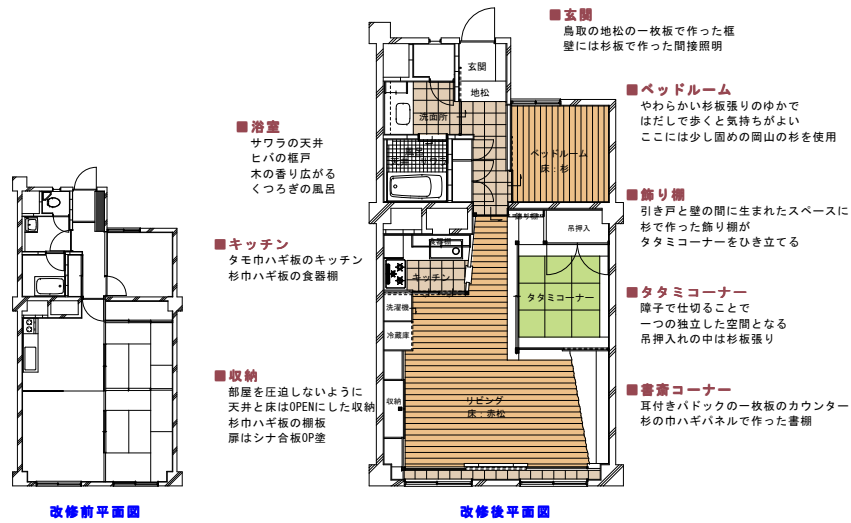


■ マンションの自然素材リフォーム



Atelier 珠 TAMA

築35年のマンションのリフォーム。ここまでできるマンションの自然素材リフォームと題して計画された。内装を取り払い大空間の確保できるマンションのリフォームは、水廻りの位置変えは難しいものの、**自由な発想**で間取りの変更が可能。**無垢の木、珪藻土、和紙**が使われ、ついマンションであることを忘れてしまう。まず、大きく印象を決める床。これは、当地岡山にこだわって赤松のフローリングに決定。地松にこだわる製材所の若き跡取りが今の家づくりに求められる木材をめざし、つくっています。玄関には鳥取の地松。浴室の天井はサワラの板張り。キッチンはタモの巾ハギ板で製作したもの。玄関からリビングへの扉は、吉野杉の源平の美しさをそのまま生かしたかったので、面付きで製作。取手は山で拾ったリョウボ。タタミコーナーは吉野杉。あわいピンクの肌合いがやさしく空間を包み込んでいる。書斎のカウンターはパドックの耳付き一枚板。さまざまな色味手触りを持つ木材をふんだんに使い、完成後1年半たった今でも、玄関をひらくと**木の香り**に包まれる。タタミコーナーと書斎をへだてる杉巾ハギパネルは、冬に幅1cm縮み隙間ができた。夏にはその隙間が無くなる。これは杉板が呼吸することで、空気のダイレクトな乾燥をやわらげてくれる証。設計プランだけでは成し得ない、**やわらかな空気感**をこのリフォームは実現してくれた。

